

中部ろうさい病院 内科専門研修プログラム Q&A

この度は、中部ろうさい病院内科専門研修プログラムをご検討いただき誠にありがとうございます。今回、少しでも当院のシステムをご理解いただけるように、よく質問をいただく内容につきまして Q&A の形で以下に回答させていただきますので、ご参考として頂き、良い研修プログラム選択の一助になればと思います。

ホームページに掲載の（PDF ファイルでダウンロード可能）中部ろうさい病院内科専門研修プログラムと合わせて参照ください。

Q1. 中部ろうさい病院の内科専門研修の特色について教えてください。

A. これまで中部ろうさい病院では全国に先駆けて、臨床推論の指導教育、外部講師を招いた教育、並びに充実したカンファレンスを初期研修医に提供してきました。またこれまでの専門研修では、初期研修で学んだ内容をさらに発展させ、全人的な診療が行える医師の養成を行ってきました。これまで、長年に渡り積み上げてきた教育環境は、今後においても高いレベルの研修を提供し、将来第一線で活躍できるよう、医師としての成長のサポートが可能なプログラムと考えております。

Q2. 内科の中で複数の科で専門を迷っていますが、ローテートしながら考えることは可能ですか？

A. 内科専門プログラムには、サブスペシャリティーを決定せずに登録できますので、内科をローテートしながらサブスペシャリティーを検討することは問題はなく、当院の採用上の問題もありません。

Q3. 内科をローテーションする期間を短くして、専門科研修を多くしたいのですが可能でしょうか？

A. 当院では、全科ローテーションによる内科研修を推奨していますが、要望に応じてローテート期間を短くした「サブスペ重点研修プログラム」も可能な形をとっております。

しかしながら、内科専門医取得に必要な症例数を最低限満たす必要があり、不足する症例についてはローテートして経験するか、もしくは足りない症例をサブスペシャリティーの研修と平行しながらピックアップして経験していただけるような平行研修の検討が可能です。将来の希望にマッチした研修ができるよう、最大限バックアップします。

Q4. 連携病院での研修期間はどのくらいですか？

A. 原則として内科専攻医 3 年目の 12 か月になります。

Q5. 中部ろうさい病院の内科専門研修プログラムで内科専門医の取得条件は十分満たされますか？

A. 新専門医制度が開始してから今日までの専攻医は、内科専門研修プログラム期間中に新内科専門医制度の取得に必要な症例数を経験できております。当院の症例数は、新内科専門医制度に対して十分な経験ができるものと考えております。

Q6. 採用試験について教えてください。

A. 試験日を設定し、面接試験を行います。1 次登録期間終了後でも、採用予定人数に満たない場合は、それ以降も随時募集を受け付けますので、下記までお気軽にお問い合わせ下さい。

Email: kenshui@chubuh.johas.go.jp 中部ろうさい病院研修センター

Q7. ローテート科で時間外呼び出しなどの診療体制につき教えてください。

A. 基本的にはローテートする各科の診療方針に準じますが、各科ともに当番制を採用し、緊急対応などの経験を積んでいただく一方で、必要な休日確保した労働環境の維持ができるよう努めております。

Q8. 外来は担当するのでしょうか？

A. 内科専門研修 1 年目は、当院内科初診症例中心の総合内科外来を週 1 回担当し、広く内科的疾患を経験し、内科専門医の症例数が蓄積できるような体制を取っております。専門外来（サブスペシャリティー領域）も、各科の研修責任者と相談しつつ実施することも可能です。

Q9. 当直回数は何回ですか？

A. 専攻医の当直回数は月 3～4 回です。救急車からの連絡を受ける救急担当医として、初期研修医への指導的役割と救急外来の司令塔的役割を担い、経験を積んでいただくことになります。

※これら以外にも、内科専門研修につきご不明な点がございましたらお問い合わせいただければ、回答させていただきますのでお気軽にお問い合わせください！

（問い合わせ先：E-mail kenshui@chubuh.johas.go.jp 臨床研修センター）